第８次鷹栖町総合振興計画策定と進捗の報告セミナー
「笑顔　幸せ　みんなでつくる　あったかす」

開　催　報　告

令和３年３月 17 日開催

・鷹栖町では平成 30 年度・令和元年度の２カ年をかけて、町民の皆様と意見交換を行いながら、まちづくりの最も基本となる「第８次鷹栖町総合振興計画」を策定しました。
・新しい総合振興計画について広く住民にお披露目するとともに、それぞれが「自分事」として将来像の実現に関わることの大切さ・楽しさについて学ぶことを目的としたセミナーを開催し、当日は５５名の方にご参加いただきました。

総合振興計画の紹介

総合振興計画は、住民参加のプロセスを重視し、「まちづくりに関するアンケート調査」や、35 団体 41 件の面談による聞き取り、まちづくりセミナーを含めた 30 回を超えるワークショップ等を実施した上で策定しました。

こうした過程を通じて、鷹栖町は、あらゆる立場の町民がライフステージにかかわらず、一人ひとりの暮らしの希望を実現し、幸せを実感できる地域社会の実現を目指すという理念のもとに、まちの将来像を「笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす」と設定しました。本計画では、まちづくりを他人事ではなく「自分事」として取り組んでいく覚悟が必要であるとの考えから、基本構想の中に、「町民の決意」、「行政の決意」、「連携の決意」という３つの決意を盛り込み、現在、各々の施策を開始したところであります。本計画の策定にご参加いただいた皆様に改めて御礼を申し上げます。

【プログラム】

１　開　会
２　第１部：総合振興計画の紹介
　　総務企画課　参事　山原章由
３　第２部：基調講演
　　テーマ「住民が動かし、行政が支えるまちづくり」
【登壇者】一井暁子さん（(一社）つながる地域づくり研究所）
４　第３部：パネルデスカッション
　　テーマ「みんなでつくるあったかす　私たちの決意」
【登壇者】膳法法幸さん（総合振興計画策定委員会委員長）
　　秋山春雄さん（総合振興計画策定委員会福委員長）
　　内藤直子さん（住民 WS 未来をつくる会参加者）
　　平林　悠さん（住民 WS 未来をつくる会参加者）
【コーディネーター】五十嵐智嘉子 氏（HIT）
【コメンテーター】　一井暁子さん（同上）

基調講演（オンライン）　「住民が動かし、行政が支えるまちづくり」

全国様々な地域の課題解決に向けて支援活動に従事する一井氏のご講演は、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて残念ながら今回鷹栖町にご来訪いただくことは叶わず、オンラインを活用して行いました。

<講演要旨>

○鷹栖町民にまちづくりの大切さと楽しさについて参考になるような事例として、【事例①「障がいを持った子どもたちの居場所をつくりたい」というお母さんたちの想いを形にした「みんなのおうちぽっかぽか」の取組（岡山県奈義町)】、【②「お店や事業所もまちづくりに参加したい」という想いを形にした「ナギフト制度」（岡山県奈義町)】、【③「地区のファンを増やして、地区を元気にしたい」という想いを形にした「一般社団法人南さいはく」の取組（鳥取県南部町)】、の３つの事例をご紹介いただきました。

○最後に一井さんから「これから鷹栖町の皆さんが、それぞれの想いを大事にしながら素敵なまちづくりを進めていかれると思うが、そんな時に色々なパターンで町民の皆さんと役場が手を携え、色々な方と手をつなぎながら、楽しんで、自分たちの気持ちを叶えるようなまちづくりを是非進めていっていただきたい。」というメッセージをいただきました。

一井暁子さん（一社団法人つながる地域づくり研究所　代表理事）

<プロフィール>

2007 年より岡山県議会議員を務めた後、2013 年に岡山市を拠点とするローカル・シンクタンク「一般社団法人つながる地域づくり研究所」を設立。自治体と民間、住民をつなぎ、地域の課題を解決する支援活動に従事している。

パネルディスカッション　「みんなでつくるあったかす　私たちの決意」

第 8 次鷹栖町総合振興計画の策定プロセスや将来像の実現に向けた具体的な取組に関わっている 4 名の町民の方々に、計画策定に込めた思いや将来像の実現に向けた「決意」を発表していただきました。

なお、基調講演を行った一井暁子さんにもコメンテーターとしてご参加いただき、全体の進行を札幌市にある一般社団法人北海道総合研究調査会（HIT）の理事長である五十嵐智嘉子さんに務めていただきました。

膳法法幸さん
総合振興計画策定委員会委員長

・今回、策定委員会の委員長を務めたが、一番大切にしたかったのは、色々な町民の声、地域の実情、将来に向けての夢である。
・これまでは町民は何もしなくて良かったが、これからは協働参画が必要であり、真剣に議論した。
・ワークショップに若い人の参加が多かったのが嬉しかった。この鷹栖に住み続けたいと考える人は 30 代が一番多かった。そういう人の活躍がまちには必要だと思う。

秋山春雄さん
総合振興計画策定委員会副委員長

・住みやすい地域になってほしいとの思いから、総合振興計画づくりに携わりたいと思った。
・今後、人口は減り、行政職員も減る。行政に頼らず、自分たちでやっていかなくてはならないと思う。
・おかげさまで総合振興計画は良い形でまとまったと思う。策定メンバーが真剣に互いの意見を出しながら検討した結果、まとまったこの計画は「自分事」だと思っており、１つでも計画を実現したいと

内藤直子さん
住民 WS 未来をつくる会参加者

・神経と運動の発達にそって脳と心と体に刺激を与える「コオーディネーショントレーニング」の普及と指導を行っており、実際に町にどのくらい浸透しているかを知りたくて、住民ワークショップに参加した。
・鷹栖の魅力はやはり「人」だと思う。ワークショップを通じて、鷹栖にはとても魅力的な人が多いと感じた。

平林　悠さん
住民 WS 未来をつくる会参加者

・現在、米農家をする傍ら、移住の相談にも乗っており、農家になりたい人や移住を考えている人からの相談が来る。
・鷹栖町は人が魅力のまちなので、魅力的な人をこの町に引っ張ってこようと考えている。自分の住んでいる地区に村を作り、仲間を呼ぶ計画をしたい。
・鷹栖町は意外と便利な町であり、今後人口は増える可能性もあると思う。対外的に鷹栖をアピールしていきたい。

一井暁子さん
コメンテーター
（基調講演講師）

・まずは、皆さんのやりたいことを実現することが必要。出会いから共感が生まれ、「一緒にやろうよ」とつながっていく。
・「①町民の皆さんが自身の想いを発表できる場づくり」、「②皆さんに知ってもらう機会づくり」、「③関わりたい人が参加できるような仕組みづくり」の３つの取組が「あったかす」を作ることになると思う。

連携の決意

セミナーを振り返り、谷町長が「連携の決意」を表明しました。

<要旨>

本セミナーの中で「鷹栖の魅力は「人」だ」という発言があり大変嬉しい。まちづくりを「自分事」と捉え、新しいチャレンジをしている皆さんは大変素晴らしい。まちづくりの中心は町民であり、行政とワンチームで行っていきたい。今日のセミナーで皆さんの話を聞いて、明るい未来が見えてきたように思う。

第 8 次鷹栖町総合振興計画

お問合せ先：鷹栖町 総務企画課 地域振興係
TEL:0166-87-2111 FAX:0166-87-2196
(https://www.town.takasu.hokkaido.jp/chousei/keikaku/8jisougousinkoukeikaku.html)